

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	聖マリアンナ医科大学看護専門学校
設置者名	学校法人聖マリアンナ医科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
I 医療専門課程	看護学科（新）	夜・通信	65 単位	9 単位	
	看護学科（旧）	夜・通信	62 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ（シラバス）に掲載 https://www.marianna-u.ac.jp/nursing/support.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名：なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	聖マリアンナ医科大学看護専門学校
設置者名	学校法人聖マリアンナ医科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

聖マリアンナ医科大学 ホームページ https://www.marianna-u.ac.jp/houjin/info/file/yakuinmeibo.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2023. 4. 1 ~ 2026. 3. 31	
非常勤	開業医（院長）	2023. 4. 1 ~ 2026. 3. 31	
常勤	前地方公務員	2023. 4. 1 ~ 2026. 3. 31	総務担当
常勤	前株式会社社員	2023. 4. 1 ~ 2026. 3. 31	財務担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	聖マリアンナ医科大学看護専門学校
設置者名	学校法人聖マリアンナ医科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>1, 授業について、学習目的及び学習目標、授業の方法及び内容、評価方法、留意事項、学習のサポート方法を授業計画書としてシラバスを作成し公表している(紙面及びホームページ上)。また臨地実習に関しては実習要領を作成し実習目的・実習目標、実習時間(単位)、実習施設、実習の進め方、実習方法、事前学習、実習記録、注意事項、実習評価について詳細に示し紙面及びホームページ上で公表している。</p> <p>2, 学校教育法及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づき、旧カリキュラムは講義75科目、77単位(1,995)、臨地実習12科目23単位(1,035時間)合計100単位(3,030時間)で構築している。新カリキュラムは80科目80単位(1,950時間)、臨地実習13科目23単位(1,035)合計93科目103単位(2,985時間)でカリキュラム構築している。その内容に関しては全科目シラバス及び実習要領に示している。始業時オリエンテーション、実習オリエンテーション、学年別オリエンテーション、各科目の開講時の説明等で周知している。</p> <p>3, 臨地実習に関しては多岐にわたる実習施設(病院、老人保健施設、老人福祉施設、訪問看護ステーション、保健所、助産院、子育て支援センター、保育園等)について実習要領にまとめ学生に説明するとともに、各施設に配布し、事前打ち合わせを行い、指導の共有と教育内容の充実を図っている。講義(専門基礎分野及び専門分野)、臨地実習それぞれ科目終了後に授業評価を実施している。評価結果は各教科担当に紙面で配布し、教育の質向上に努めている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>シラバス・実習要領</p> <p>https://www.marianna-u.ac.jp/nursing/support.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>概要) 学生便覧「学則第 21 条」及び「成績評価細則」に従い成績評価を実施している。評価内容に関してはシラバス及び実習要領に詳細に示している。また試験に関する規則に関しては学生便覧、留意点は学習ガイダンスに示している。その他学生一人一人への周知の目的で別途学年ごとの試験に関する説明書を作成し、4 月の始業時に配布している。試験の時期は学則に従い集中試験としている。また結果に関しては年 2 回本人と保証人に対し紙面で送付し、さらに定期的に web 配信にて本人に通知している。その他カリキュラムを担当する教員より web 配信時に成績に関して、留意するところ、個人の学習方法等を説明している。</p> <p>1, 試験形態は、ペーパー試験、レポート試験、課題提出、技術試験さらに出欠席など日ごろの学習姿勢も含め総合的に評価し科目担当者が決定している。</p> <p>2, 臨地実習における評価はルーブリック評価表を用いて、学生個々の自己評価、担当教員及び実習指導者による他者評価を実施している。自己評価と他者評価、両方の結果に基づいて実習最終日に担当教員と学生個々がリフレクションを行っている。評価について十分な説明とそれに対して了解を得ている。同時にできているところと課題となるところを学生に提示している。</p> <p>3, 成績は 100 点満点で評価し、80 点以上 A 評価、70 点以上 80 点未満は B 評価、60 点以上 70 点未満は C 評価、60 点未満は D 評価としている。D 評価は 1 回に限り再試験を認めており、60 点以上であれば単位修得としている。やむを得ない事由により終了試験が受けられなかった場合は追試験を実施している。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>成績は 100 点満点で評価し、80 点以上 A 評価、70 点以上 80 点未満は B 評価、60 点以上 70 点未満は C 評価、60 点未満は D 評価としている。D 評価は不合格としている。</p> <p>成績下位 4 分の 1 に該当する学生には学習方法も含め今後の学習計画とサポートについて説明し、学生同意のもと進めている。この内容は 3 者面談や年度末の成績表送付にて保証人に知ってもらっている。科目ごとの平均点が 70 点未満の場合は解説を学生ポータルサイト上に提示し、リフレクションと再試験の準備ができるようにしている。また看護の知識の統合（卒業試験）に関しては、25 科目の平均点が 60 点以上であることと、5 分の 4 以上が 60 点以上であることを卒業要件としている。学生には個別担当及び国家試験担当が中心となり国家試験までの学習計画を立案し、国家試験合格を目指している。年 2 回の単位認定会議及び 1 回の卒業認定会議を行い、一人一人の成績を客観性の確認、また成績分布状況の把握を行い、学生個々がそれまでに習得すべき単位を確実に修得できているか確認するとともに、成績分布から教育の効果についても再確認している。学生便覧に示す学則及び成績評価細則に基づいて評価し単位認定及び卒業認定を行っている。また成績会議に関する記録を会議議事録に残し、内容の確認のもと、最終的に校長が署名捺印しその責任を担っている。結果は紙面および web にて学生個々に通達している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>【学生便覧：学則及び成績評価細則】 希望者は本校窓口で閲覧可能</p> <p>【シラバス】【実習要領】 学校ホームページに掲載 https://www.marianna-u.ac.jp/nursing/support.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

4, 概要) 学生便覧「学則第 23 条」及び「成績評価細則第 12 条」の規定に則り実施している。卒業認定にあたっては、本校の修業年限が 6 年以内であり、今年度まで旧カリキュラムは講義 75 科目、77 単位 (1,995)、臨地実習 12 科目 23 単位 (1,035 時間) 合計 100 単位 (3,030 時間)、次年度からは新カリキュラム講義 80 科目、80 単位 (1,950 時間)、臨地実習 13 科目 23 単位 (1,035) 合計 93 科目 103 単位 (2,985 時間) で構築しており、すべて科目について単位を修得していること、ただし「看護の知識の統合」において 5 分の 4 科目が 60 点以上であること、さらに欠席時間が出席すべき日数の 3 分の 1 を越えない者に対して、卒業認定会議の議を経て校長が卒業認定を行う。

すべての科目が必修であり、各学年末に単位認定会議 (教員会議) において一人一人の成績表を用いて、教員全員で確認し、学則及び成績評価細則に取り間違いがないことを確認し、判定している。単位認定において誤りや学生個々への不利益がないか、会議の中で十分確認吟味し間違いがないことを確認している。その結果を学生及び保証人へ郵送するとともに web でも配信している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	学生便覧学則及び成績評価細則 希望者は本校窓口で閲覧可能
----------------------	---------------------------------

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	聖マリアンナ医科大学看護専門学校
設置者名	学校法人聖マリアンナ医科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	聖マリアンナ医科大学ホームページ法人案内財務情報 https://www.marianna-u.ac.jp/nursing/support.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2985時間/103単位(新) 3030時間/100単位(旧)	1950時間/ 80単位(新) 1995時間/ 77単位(旧)	時間/単位	1035時間/ 23単位(新) 1035時間/ 23単位(旧)	単位 時間/ 単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		242人	0人	23人	134人	157人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>1, 授業について、学習目的及び目標、授業の方法及び内容、評価方法、留意事項、学習のサポート方法を授業計画書としてシラバスを作成し、公表している（紙面及びホームページ上）。また臨地実習に関しては実習要領を作成し実習目的・実習目標、実習時間（単位）、実習施設、実習の進め方、実習方法、事前学習、実習記録、注意事項等、実習評価について詳細に示し紙面及びweb上で公表している。</p> <p>2, 学校教育法及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づき、旧カリキュラム講義は75科目、77単位（1,995）、臨地実習12科目23単位（1,035時間）合計100単位（3,030時間）で構築している。新カリキュラムは講義80科目、80単位（1,950時間）、臨地実習13科目23単位（1,035）合計93科目103単位（2,985時間）でカリキュラム構築している。その内容に関しては全科目シラバス及び実習要領に示している。始業時オリエンテーション、実習オリエンテーション、学年別オリエンテーション、各科目の開講時の説明等で周知している。</p> <p>3, 臨地実習に関しては多岐にわたる実習施設（病院、老人保健施設、老人福祉施設、訪問看護ステーション、保健所、助産院、子育て支援センター、保育園等）について実習要領にまとめ学生に説明するとともに、各施設に配布し、事前打ち合わせを行い、</p>

<p>指導の共有と教育内容の充実を図っている。</p> <p>5, 講義(専門基礎分野及び専門分野)、臨地実習それぞれ科目終了後に授業評価を実施している。評価結果は各教科担当に紙面で配布し、教育の質向上に努めている。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>(概要) 学生便覧「学則第 21 条」及び「成績評価細則」に従い成績評価を実施している。評価内容に関してはシラバス及び実習要領に詳細に示している。また試験に関する規則に関しては学生便覧、留意点は学習ガイダンスに示している。その他学生一人一人への周知の目的で別途学年ごとの試験に関する説明書を作成し、4 月の始業時に配布している。試験の時期は学則に従い集中試験としている。また結果に関しては年 2 回本人と保証人に対し紙面で送付し、さらに定期的に web 配信にて本に通知している。その他カリキュラムを担当する教員より web 配信時に成績に関して、留意するところ、個人の学習方法等を説明している。</p> <p>1, 試験形態は、ペーパー試験、レポート試験、課題提出、出欠席等から科目担当者が決定し実施している。</p> <p>2, 臨地実習における評価はルーブリック評価表を用いて、学生個々の自己評価、担当教員及び実習指導者による他者評価を実施している。自己評価と他者評価、両方の結果に基づいて実習最終日に担当教員と学生個々がリフレクションを行っている。評価について十分な説明とそれに対して了解を得ている。同時にできているところと課題となるところを明確にしている。</p> <p>3, 成績は 100 点満点で評価し、80 点以上 A 評価、70 点以上 80 点未満は B 評価、60 点以上 70 点未満は C 評価、60 点未満は D 評価としている。D 評価は 1 回に限り再試験を認めており、60 点以上であれば合格としている。やむを得ない事由により終了試験が受けられなかった場合は類追験を実施している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>1, (概要) 学生便覧「学則第 23 条」及び「成績評価細則第 12 条」の規定に則り実施している。卒業認定にあたっては、本校の修業年限が 6 年以内であり、旧カリキュラムは講義 75 科目、77 単位 (1,995)、臨地実習 12 科目 23 単位 (1,035 時間) 合計 100 単位 (3,030 時間)、新カリキュラムは講義 80 科目、80 単位 (1,950 時間)、臨地実習 13 科目 23 単位 (1,035) 合計 93 科目 103 単位 (2,985 時間) のすべてに対して単位を修得していること、ただし「看護の知識の統合」において 5 分の 4 科目が 60 点以上であること、さらに欠席時間が出席すべき日数の 3 分の 1 を越えない者に対して、卒業認定会議の議を経て校長が卒業認定を行う。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>本校の「3 年間の国家試験対策」に従い、各学年の「学習支援・国家試験担当」が中心となり 1 年次から 3 年次まで継続的に実学習支援を実施している。模擬試験、模擬試験リフレクション、試験前の模擬授業、プレテスト、3 年次個別担当制をとり心身のサポートを実施している。本校学科目の終了試験の個人平均点目標及び模擬試験の偏差値等の目標値を過去の国家試験と模擬試験、終了試験の結果から割り出し、算出している。それに向けて学生個々が学習目標を掲げ、その達成のための指導を継続的に実施している。また各学年で保証人説明会を実施し、目標値や学習支援の方法について説明し、共有してもらっている。さらに成績の伸び悩んでいる学生や学校生活で気になる学生は、本人・保証人・教員の 3 者面談を実施している。シームレスな指導と段階的な指導を目指し実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
85人 (100%)	1人 (1.2%)	84人 (98.8%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）1人が大学の助産師専攻科に進学し助産師を目指している。79名は聖マリアンナ医科大学病院関連病院に、また4名がそれ以外の病院に看護師として就職している。1名は看護師業務以外での就職をしている。</p> <p>（就職指導内容）自律した専門職業人として社会人として一步を踏み出すことを強く意識できるようアドバイスしている。また自分のキャリアが描けるように情報を提供している。履歴書の書き方面接についても求めに応じて実施している。</p> <p>（主な学修成果（資格・検定等））看護師国家試験受験資格の取得。さらに助産師や保健師の受験取得のための進学資格を取得。学士を有し、本校を卒業した学生は卒業後大学の助産師専攻科受験資格を取得できる。</p> <p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
242人	2人	0.8%
<p>（中途退学の主な理由） 進路変更・人間関係の悩み</p> <p>（中退防止・中退者支援のための取組）：学生指導担当における学年制の導入・学校カウンセラーと相談し面接の視点の明確化・電子目安箱の設置などをタイムリーに実施する。教員間の情報共有を密に行い、成績や出欠席など予兆とみられる情報がある場合は早急に対応する。保証人を交えた3者面談や始業時の学年ごと保証人の会を実施し保証人とも密に情報を共有する。各長期休暇前にはオリエンテーションはもちろん保証人メールによる情報共有を実施するなどして、中途退学の防止や進路への悩み、人間関係の悩みを早急にキャッチし、学生相談を活用し長期的に対応していける方法を講じた。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	100,000 円	360,000 円	100,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校ホームページ 「自己点検自己評価結果」 https://www.marianna-u.ac.jp/nursing/support.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校評価委員会により選出された学校関係者評価委員会に対し委嘱状をもって依頼し、受託確認を行っている。本校教員が実施した自己点検自己評価結果を分析し、その結果をもって、学校関係者評価委員により自己点検自己評価の客観性を評価している。本校からは校長、副校長、教務科長、事務長、学校評価委員会委員が出席している。学校関係者評価委員として、高等学校関係者2名、看護団体関係者1名、在校生保証人1名、卒業生保証人1名、同窓生1名、法人関係者6名がその任を担ってくれている。現状で認めるべきところは認め、その上に立ってさらに教育の水準や質向上が図れるような評価を得ている。その結果を本校ホームページで公表している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
神奈川県立高等学校	2022年10月1日～2023年9月30日	教員
東京都私立高等学校	2022年10月1日～2023年9月30日	教員
川崎市看護協会	2022年10月1日～2023年9月30日	看護師
在校生保証人	2022年10月1日～2023年9月30日	
卒業生保証人	2022年10月1日～2023年9月30日	
同窓生	2022年10月1日～2023年9月30日	看護師
聖マリアンナ医科大学	2022年10月1日～2023年9月30日	医師・看護師6名
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「学校関係者評価報告書」 https://www.marianna-u.ac.jp/nursing/support.html
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.marianna-u.ac.jp/nursing/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「—」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H114313000076
学校名	聖マリアンナ医科大学看護専門学校
設置者名	学校法人聖マリアンナ医科大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		16人	16人	16人
内 訳	第Ⅰ区分	12人	—	
	第Ⅱ区分	0人	—	
	第Ⅲ区分	—	—	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				16人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。